

人文科学研究科応用社会学専攻 修士課程

入試区分	評価方針
一般入試	大学または相当する教育機関で学んだ、社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関する基礎知識がしっかりと身につけ、応用社会学専攻での研究へと発展していけるかどうかを、出願書類と筆記試験の成績及び口頭試問によって評価します。
社会人入試	大学または相当する教育機関で学んだ、社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関する基礎知識がしっかりと身につけ、応用社会学専攻での研究へと発展していけるかどうかを、出願書類と筆記試験の成績及び口頭試問によって評価します。
学内推薦	社会学科もしくは歴史文化学科における学びが規準を満たし、応用社会学専攻での研究へと発展していけるかどうかを、出願書類ならびに大学院指導予定教員が指示したテーマについての研究レポートに基づく口頭試問によって評価します。
外国人留学生入試	日本の大学または相当する教育機関で学んだ、社会学、文化人類学、歴史学、地理学、民俗学に関する基礎知識がしっかりと身につけ、応用社会学専攻での研究へと発展していけるかどうかを、出願書類と日本語による筆記試験の成績及び口頭試問によって評価します。